

なんだろう?? 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンター（災害VC）は、災害（地震・風水害など）が発生した際に、被災した方々や地域を支援するために、臨時的・応急的に作られるボランティアセンターです。

各地から集まってくるボランティアと、被災者のニーズをつなぐことが大きな役割です。



幸区社協

はっぴい

1995年の阪神淡路大震災以降、災害時のボランティアの力が注目されるようになり、東日本大震災においては、196箇所の災害VCが設置されました。

川崎市においては、令和元年の台風19号による被害発生後に、令和元年10月15日から11月24日まで、川崎市中原区に川崎市災害VCが設置されました。被害が大きかった中原区、高津区を中心に、個人家屋の片付けや泥出し、清掃など390件の依頼に対して、約1,340名の方がボランティアとして活動されました。



令和元年 台風19号 川崎災害VC
ボランティア活動の様子



災害ボランティアセンター（災害VC）は どこが運営するの？



2018 広島県三原市災害VC
ボランティア待機中の様子

災害VCは、法律で定められている機関ではありませんが、2004年の中越地震以降、被災地域の自治体ごとに社会福祉協議会（社協）が中心になって設置・運営されることが一般化しています。

川崎市においては、川崎市と川崎市社会福祉協議会と市民活動センターにより、災害VCの設置や運営に関する協定を結んでいます。

全社協、経団連、共同募金会、NPO等による全国的な支援体制の整備も進んでいます。



災害ボランティアセンター（災害VC）は どんな活動をするの？



大きな役割は、①被災者の困りごとへの対応と②ボランティアの募集・コーディネートです。

困りごとについて相談を受け付けたら、現地を調査してボランティアが支援に入れるか、必要な資材は何かなどを判断します。地域を回って、残っている困りごとがないか聞いて回ることもあります。

ホームページやSNSを通じてボランティアを募集し、集まったボランティアに対して、活動内容を説明し、必要な資機材を渡してコーディネートします。床下の対応など特殊な技能が必要な活動については、専門ボランティアに相談する場合があります。

復興に向けて地域の困りごとは変化していきますので、状況にあわせてコーディネートしていくことが重要です。



2011 岩手県釜石市災害VC
現地調査の様子



地域の皆さんに知っておいて欲しいこと

大きな災害が発生した時には、災害VCが設置されることを是非覚えておいてください。もしも幸区において災害が発生し、周りに困っている方がいたら、災害VCに相談できることを案内してください。

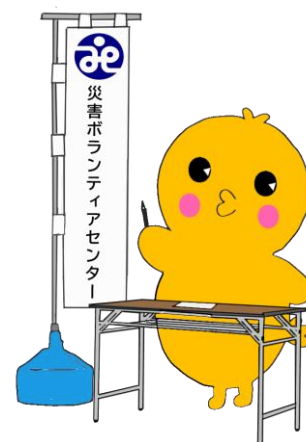
災害発生時には、人命救助やライフラインの復旧が最優先となりますので、ボランティア活動がすぐにできる訳ではありません。被災地でボランティアを希望する場合は、必ず現地の災害VCから発信される情報を見て、ボランティアの受入を行っているかどうかを確認してください。



2011 岩手県釜石市災害VC
ボランティア活動用資材



全社協 被災地支援・
災害ボランティア情報
ホームページ
(被災地のボランティア募集
状況などを確認できます)



川崎市幸区社会福祉協議会

川崎市幸区戸手本町1-11-5 川崎市さいわい健康福祉プラザ

TEL 044-556-5500 FAX 044-556-5577

